

令和7年上野原市議会 第3回定例会席上 市長あいさつ
令和7年9月2日

本日ここに、令和7年上野原市議会第3回定例会を招集いたしましたところ、議員各位におかれましては、公私ともにお忙しい中、ご参集いただきまして、心より厚くお礼申し上げます。

本定例会の開会に当たり、提出いたしました議案につきまして、その概要を説明するとともに、市政運営の状況について申し上げ、議員各位並びに市民の皆様のご理解とご協力をお願い申し上げたいと存じます。

今年の夏は、平年より1日早い梅雨明けとなりましたが、梅雨明け初日から暑い夏が続く中、連日のように熱中症警戒アラートが発令され、身の危険を感じる暑さが続きました。気象庁によりますと、記録的な猛暑となった昨年7月の平均気温は、平均値を1.91度上回り過去最高を更新したと発表されましたが、今年はこれをも上回り、平均値を2.16度上回る観測史上、最も高い記録となり、2年連続で過去最高を更新するといった1898年の観測による統計開始以来「最も暑い夏」と発表されました。

また、8月5日には、太平洋側を中心に高気圧に覆われて晴れるとともに、山越えの暖かい風が吹き下ろす「フェーン現象」の影響も加わり、関東の内陸などでこれまで経験したことのないような暑さとなりました。群馬県伊勢崎市では、41.8度を観測し、国内過去最高気温を更新したほか、国内14の観測点で40度以上を観測しました。このような情報を聞くと、地球温暖化が身近に感じるようになり、その対策の必要性を強く感じる方も増えてきているのではないのでしょうか。

市としましては、ゼロカーボンシティ宣言を掲げ、これまでも市役所庁舎や市内小中学校等をはじめとした各種公共施設で使用している電力を再生可能エネルギー100%の電力に順次切り替えを行ってきており、また、ごみの減量化として、雑紙やペットボトルなどの分別項目を増やすなどの取り組みを実施し、今後も、ごみの減量化策を積極的に進めることで温室効果ガスの排出量を削減し、脱炭素社会の実現を目指して参りたいと考えております。今後も市民の皆さんと共に、地球温暖化対策を粘り強く継続的に取り組んでいく必要があると考えております。

さて、このような地球温暖化が進み異常とも思える高温が続くなか、一転してゲリラ豪雨や大雨による災害が多数発生しております。8月には、東北北部や北陸、九州地方を中心に記録的な大雨となり、住宅の床上・床下浸水など建物への浸水被害が相次ぎ、土砂崩れや河川の氾濫、心肺停止や行方不明者の報告もあるなど、深刻な事態となりました。近年の豪雨は、数年に1度しか降らないような危険な雨が降り、災害リスクが高まるような事態が頻繁に発生しています。市としましては、このような豪雨に対しても、危機管理室を中心に全庁的に早め早めの情報収集と対応、また、今年度、避難所体制の強化を図るため、新しい地方経済・生活環境創生交付金を活用した地域防災緊急整備型の事業により簡易トイレの整備を進めるなど、体制整備に努めているところであります。

また、災害は豪雨だけではありません。7月30日、カムチャッカ半島付近を震源とするマグニチュード8.8の巨大地震が発生し、北海道・東北地方を中心に揺れを感

じ、岩手県久慈港では、1.4メートルの津波を観測するなど、この地震の影響が遠く離れた日本にも影響を及ぼしました。近年、日本国内でも震度7を記録した石川県能登地方や震度6弱を記録した宮崎県の日向灘、また、今年の7月には、トカラ列島十島村で震度6弱の地震を記録するなど、大きな地震が多発しております。南海トラフ地震といった巨大地震が発生する恐れが高まる中、本市としましても防災への対策を万全にしていかなければならないと切に感じているところであります。また、市民一人ひとりの防災への意識と対策も必要でありますので、9月20日に行われる2025防災フェスタや10月25日と26日に旧平和中学校で実施します避難所宿泊体験訓練には、多くの市民の皆様の参加と議員のみなさまのご協力もお願い申し上げます。

さて、不安になるような話題が多い中、今年の夏、熱戦が繰り広げられた第107回全国高校野球選手権大会では、山梨県代表の山梨学院大学附属高校が準決勝で沖縄県代表の沖縄尚学に惜敗し、決勝進出を果たせなかったものの、全試合を通じて多くの人に感動を与え、チーム初の夏の甲子園ベスト4進出を成し遂げました。また、上野原市出身の球児も途中出場ながらも試合に出場しました。甲子園という大舞台にたち、チームに貢献する姿を見て、私自身、大変興奮しました。スポーツのもつ力、人々を元気にする影響力は計り知れないものがあると感じております。

当市においては令和5年度から、3×3（スリー・エックス・スリー）バスケットボールのプロチーム上野原サンライズが上野原市をホームタウンとして活動しております。今年5月5日・6日には、「サンライズフェス」を開催、8月2日には、島田小学校体育館を会場とした三人制バスケットボールの国内リーグ「トライクロスリーグ」の公式戦が開催されるなど、プロのバスケットボールを身近に感じてもらうことができ、子供たちは目を輝かせながら試合を観戦していましたが、私は、その様を見て、プロの選手に憧れ、夢や希望を抱き、夢を実現しようと努力する子供たちが増え、いつの日にか上野原市からアジア、アジアから世界で活躍するスポーツ選手が生まれることを期待したところであります。過日も群馬県で行われた第25回全日本新体操クラブ団体選手権大会において、市内の小学校に通う子どもたちで構成する新体操団体の「イーリス新体操クラブ」が7位入賞を果たすなど、全国レベルでの大会で活躍する子どもたちが上野原市内にも大勢いることを知り、私自身、大変喜ばしく、誇りに思う次第であります。

また、男子チームに加え、今年発足した「上野原サンライズ」女子チームにおいては、先月30日に群馬県高崎市で開催された、世界最高峰のプロリーグ「3×3（スリー・エックス・スリー）エグゼクティブ」国内リーグの最終ラウンドにおいて、決勝戦まで進み、終盤では、選手は怪我や疲労で足を引きずりながらも、最後まで戦い抜き、見事優勝を果たし、その姿は、見ているものに感動と興奮を与えてくれました。今月末には、大阪で開催される世界の上位チームが参戦するプレイオフに、この上野原市から生まれたチーム「上野原サンライズ」が、まさに日本を代表して出場することが決定しました。男子チームも、プレイオフ出場を目指し、今週7日、岡山県岡山市で開催される最終ラウンドに挑みます。市民の皆様におかれましては、引き続き、「上野原サンライズ」に熱い応援をいただきますようよろしくお願いいたします。

さて、本定例会の補正予算には、私立幼稚園医療ケア看護職員等設置事業や認知機能低下予防補聴器装用推進事業補助金の実施に伴う増額、長期優良住宅・省エネ・断

熱性能・県産材使用等で住宅の新築及び改修に対する補助として「やまなし KAITEKI 住宅普及促進事業」、また、妊婦や乳幼児世帯、ひとり親家庭などを対象とした物価高騰対策支援事業といった、市民生活に寄り添った内容の予算を中心に計上し提出させていただきました。どの予算も市民生活に密接に関わる必要な予算であります。子供たちはもとより、市民一人ひとりが、「将来に夢や希望がもてるまちづくり」をめざして、職員と一丸となって市民の皆様の負託にこたえるよう、誠心誠意、市政運営に努めてまいり所存であります。

暦の上では秋ですが、残暑厳しい中、本日より25日までの議会開催となります。議員各位におかれましては、健康に十分ご留意のうえ、市政運営に対し、これまでも増してご支援ご協力を賜りますようお願い申し上げます。